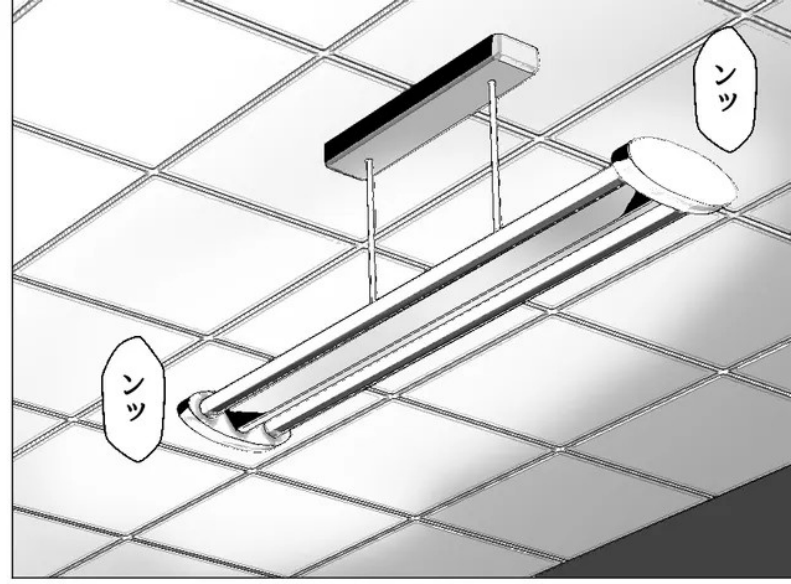


女教師 篠崎リンの調教記録



お雑煮





んっんっんっ!

ニユポ

ニユポ



んんんんんー

ドクッ

ドクッ



先生、そろそろ出すぜッ!



んん

ぐぐ



こぼすなよー

しっかり飲み込め

ぐ

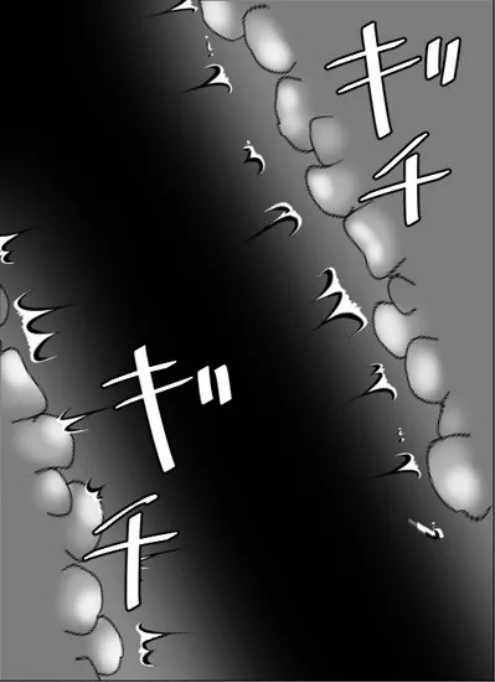
ぐ

ぐ



もはや女教師としての面影は一つもないぜ。





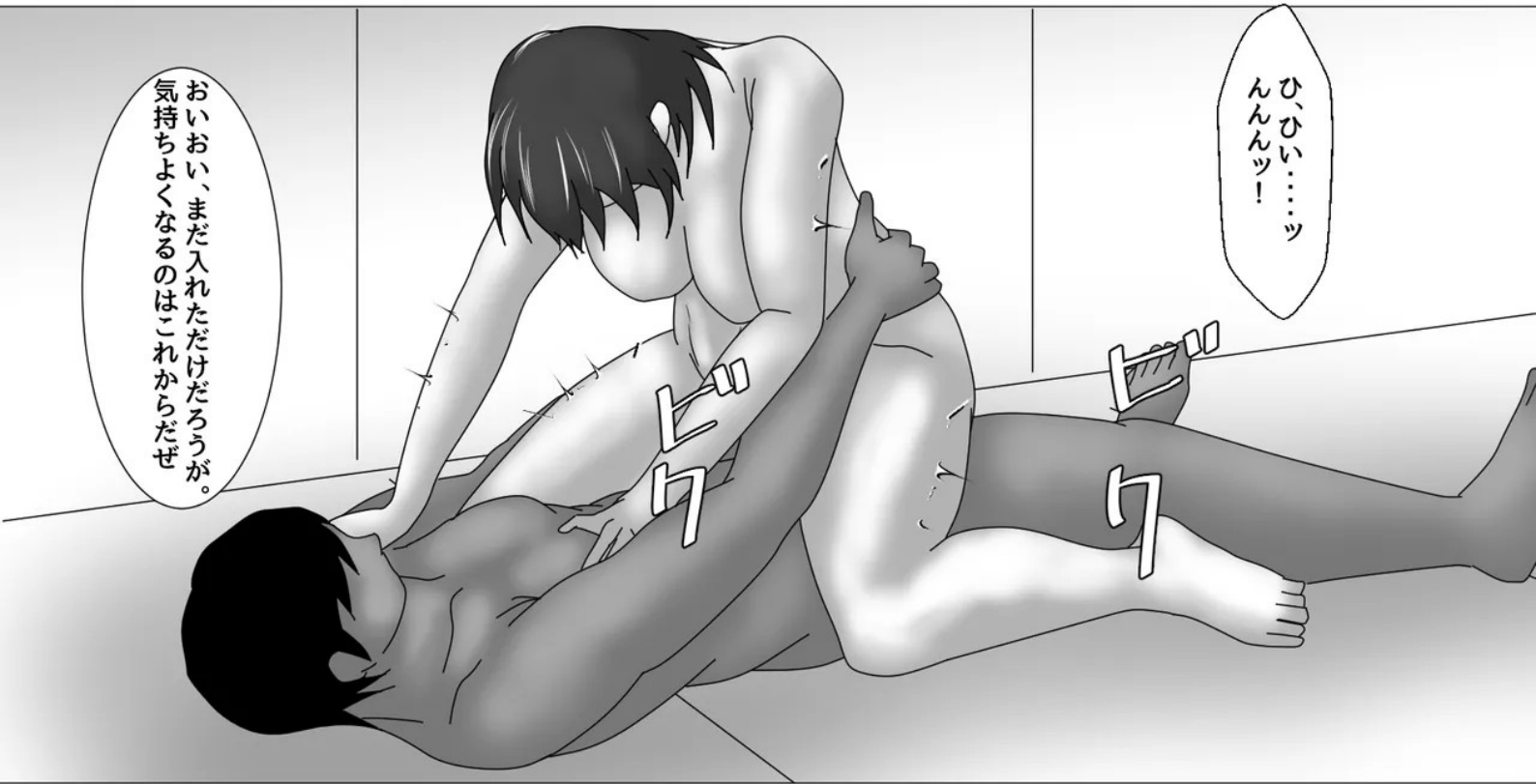
ようやく味わえ

これが欲しかったんだろう？



奥まで…届いてる…

あ…あ…



おいおい、まだ入れたただけだろうが。気持ちよくなるのはこれからだぜ

ひ、ひい……ッ
んんんッ！



ヒアアアアッ！

じゃあ、動くぞッ！



き、きききき……ッ



あああッ!!

あああッ!!



イキツますッ!

もうイクウツ!

ビッ

グ



イク時は、
ちゃんと言えよ?

ヒッ!!
グウツ!

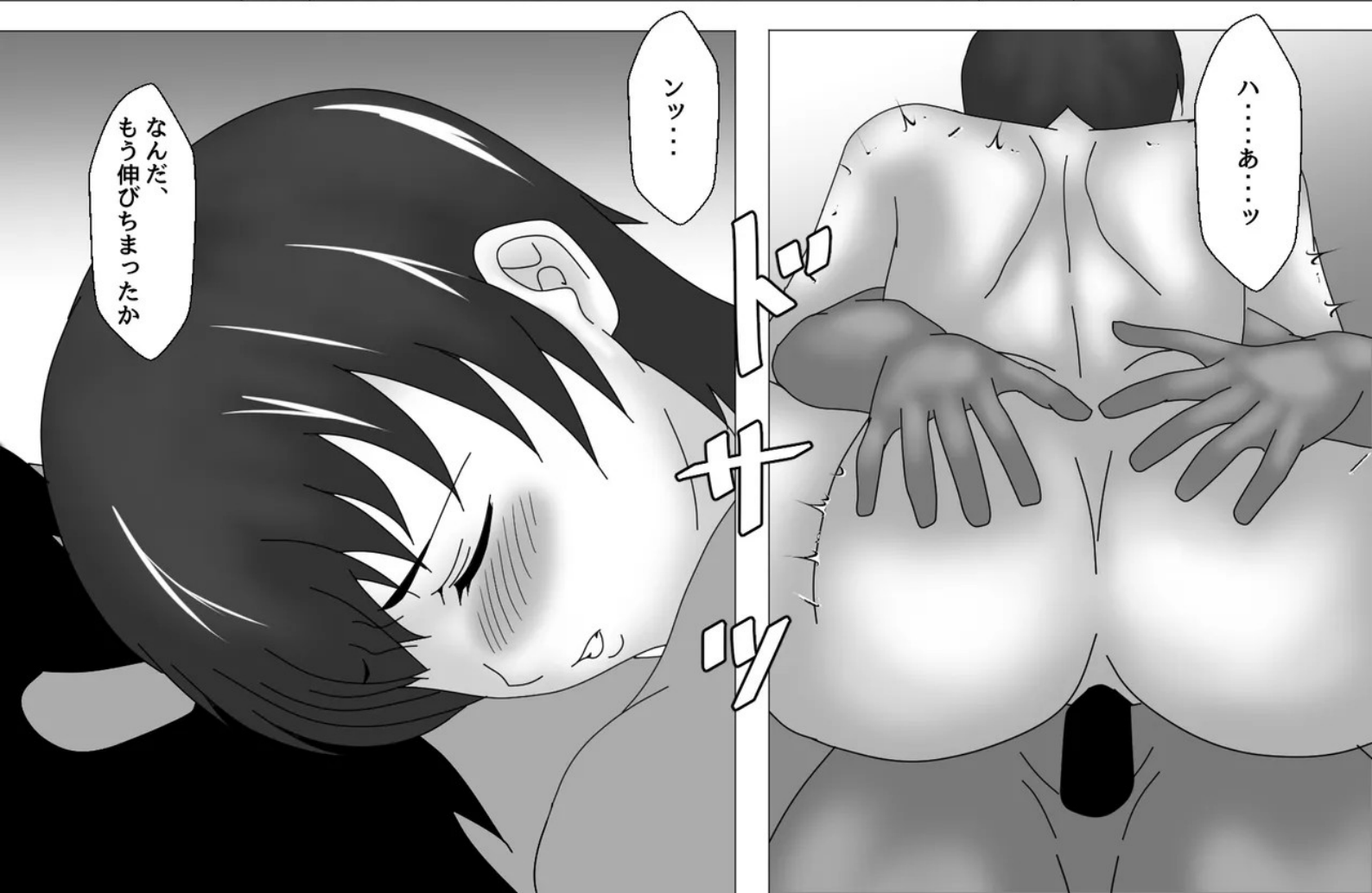


アアアアアッ

ヒッ
ク

ヒッ
ク

ヒッ
ク




なんだ、
もう伸びちまったか

ン……

トッ
サッ

ハ……あ……ッ



休憩したら、
また続きをするからな

わか…
りまし…た…

私…
どうして…
こんな事に…

半年前





ああ…そうか…
ごめん…

でも…今までずっと
リン姉ちゃんて呼んでたから…

先生って呼ぶの違和感があつて



気持ちは分かります。

でも私はこの春から
先生になったんだから、

いつまでもそれは困るわ!



うーん…努力…
します…。



リョウ君!

学校の中にいる間は、
私の事、
「先生」って呼びなさいっ

もう近所のお姉ちゃんと
仲良い男の子って
間柄じゃないのよッ!



でも、
リン姉も、
実は違和感あるんでしょ？



そりゃ、そうだけど…

でも私はちゃんと
先生として頑張りたいの！



努力じゃなくて！

うーん…



この人の名前は篠崎リン。近所のお姉ちゃんだった人。
小さい頃から僕とよく遊んでいた人だ。
そんなリン姉ちゃんが、先生になるって初めて聞いた時は
びっくりしたんだけど…

自分の高校に来る事が分かった時はもつとびっくりした。
リン姉ちゃんは子供の時から凄く美人だった。
僕はいつの間にか、この人の事を…好きになっていた…
この僕の思いが届く時は果たしてくるのだろうか…

キーン
コンコン

あ、チャイム鳴っちゃった！
私、行かなきゃいけない用事があるからもう行くね！

あ、うん。



そしたら、
今まで通りの付き合いに
戻るじゃない?!

早く高校卒業して、
大学生になって。



リョウ君!

ん...?

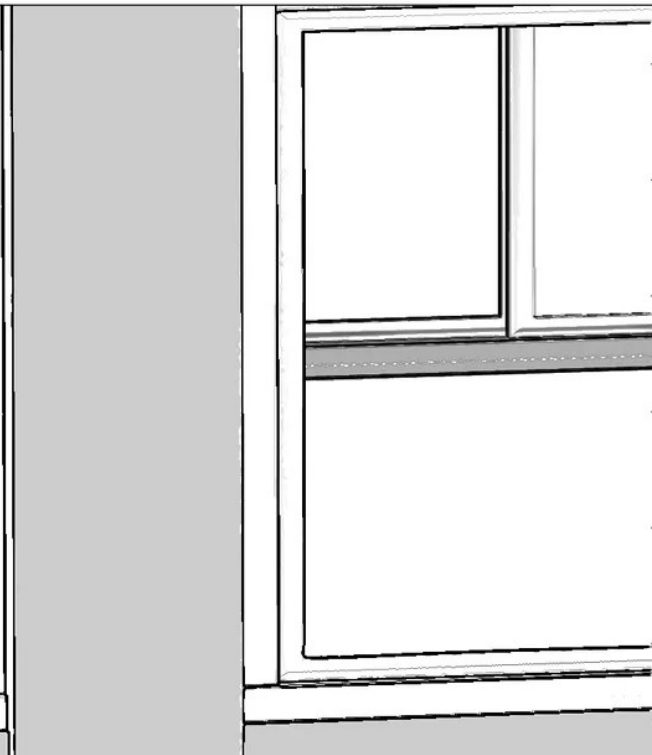


早く追いつかないとな...



可愛いなあ...

バイ
バイ
バイ





待ってたよ

お…

が
ら
り



篠崎先生…



そしたら？

ええ…。

俺が先生に渡した書類
見せたんだろ？



で、先生のお父さんに、
確認できたのか。

…。
できたわよ…。



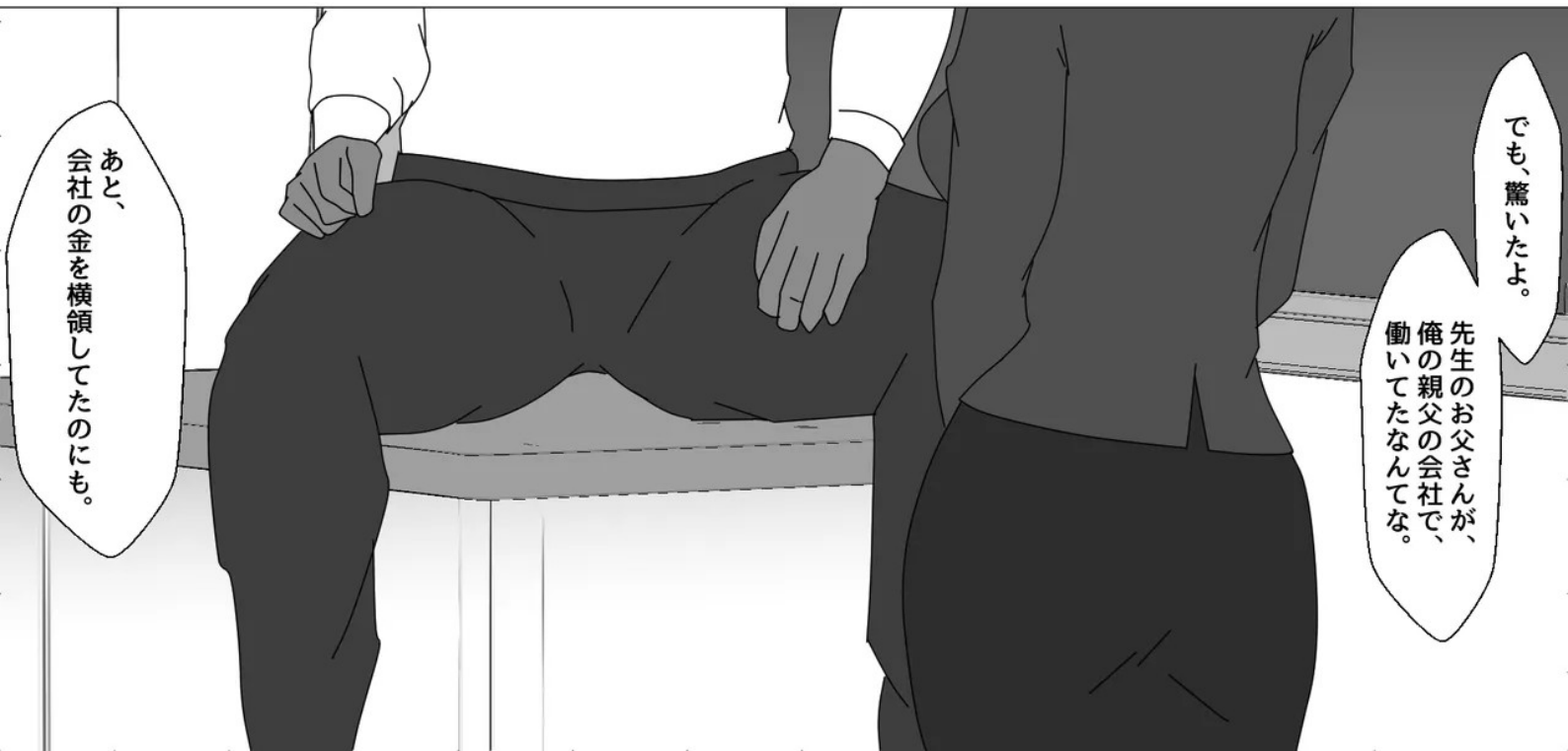
俺は嘘ついてないだろ？

そうね…



認めたわ…

だろ？



あと、
会社の金を横領してたのにも。

先生のお父さんが、
俺の親父の会社で、
働いてたなんてな。

でも、驚いたよ。



しません…

俺どの取り引きの話、どうする？



クツ…

で、この前話していた、



泣ける話だな。

でも、これ、
犯罪だからな

先生が大学に通う学費の為だったなんて、



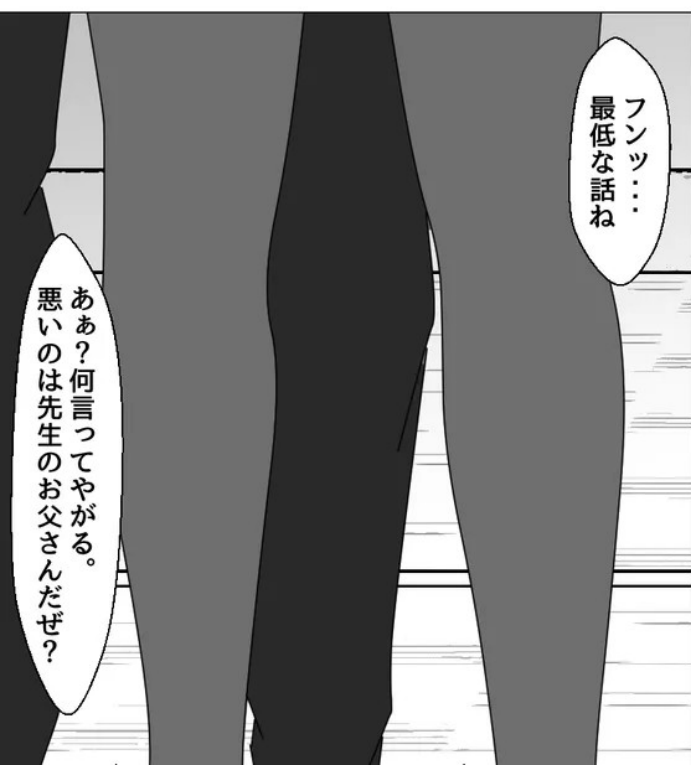
先生のお父さんも、
今まで通り。
悪くない話だろ？

半年間、俺に抱かれるだけ。
それで俺は
何も知らなかったって事にする。



おいおい…
いいのかよ、お父さん、泣くぜ？

しないわよ？
あなたと
愛人契約するとか、
絶対に間違ってます



フンツ…
最低な話ね

ああ？何言ってるやがる。
悪いのは先生のお父さんだぜ？



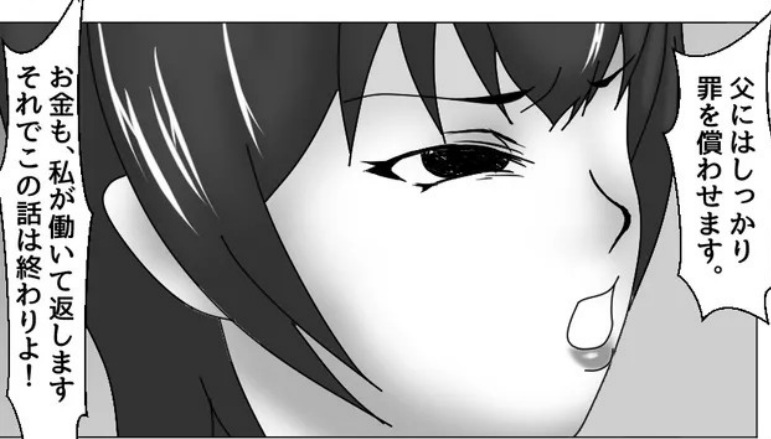
あなたねえッ!
自分がやっている事
分かっているの!?

これは立派な犯罪です!
しかも教師である私を脅すなんて!



おっと

フンッ!



父にはしっかりと
罪を償わせます。

お金も、私が働いて返します
それでこの話は終わりよ!



だから、こんな事
あなたもやめて!

私、黙っておくから!
もつとあなたも
将来の事考えて!



ククク...
そういう事じゃねえんだなあ...

ちよつとッ! 何よ!
嫌! 近寄らないでッ!



脅してなんかいないぜ。
提案してるのさ

俺が訴えたら、
先生のお父さんの人生、
一発で終わるんだぜ?





脱がしてやるぜツ!

カッ

あああッ!

ハッ



やめてッ!

お願いッ!

だめえッ!



アアアッ!

カッ



あのッ!

私ッ!

ヤダッ!



痛いッ!

痛いッ!

あああああッ!

「ごちや」「ごちやうるさいッ



初めてだったのかよ

クク…
なんだ…

ド
ロ

ヒッ!

グッ!



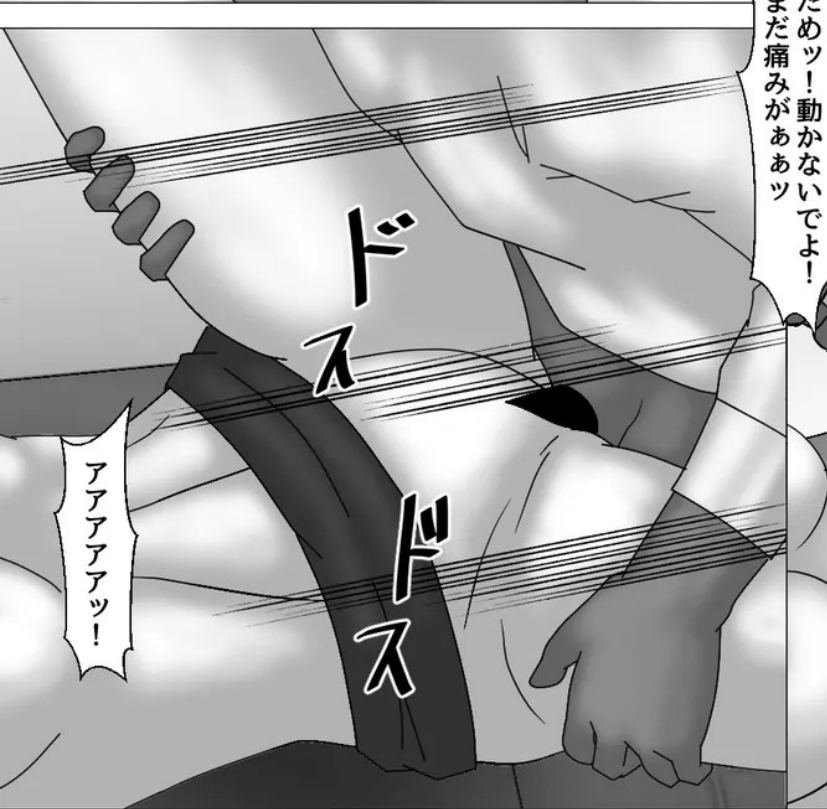
何言ってるんだ？
立派な大人の女になって
良かったじゃねえか。

大体、勉強ばかりしてるから、
行き遅れちまうんだ。
大事にとつておくような
ものでもねえよ



こんなのって！

酷すぎる！



だめッ！動かないでよ！
まだ痛みがああッ

ド
ス
ド
ス

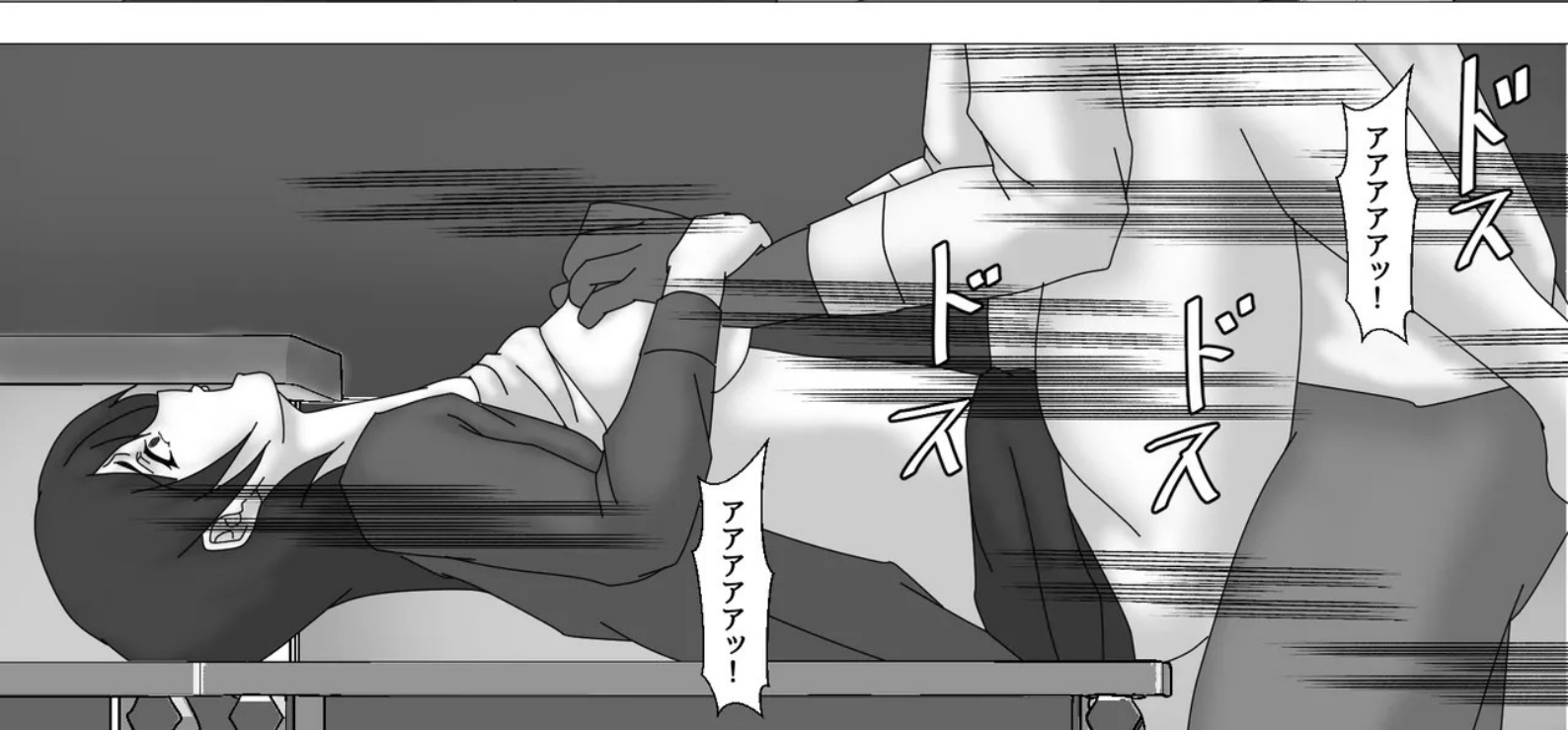
アアアアアッ！



先生に、
セックスの気持ち良さを
教えてやるよ

感謝しろや。

ズ
ズ



アアアアアッ！

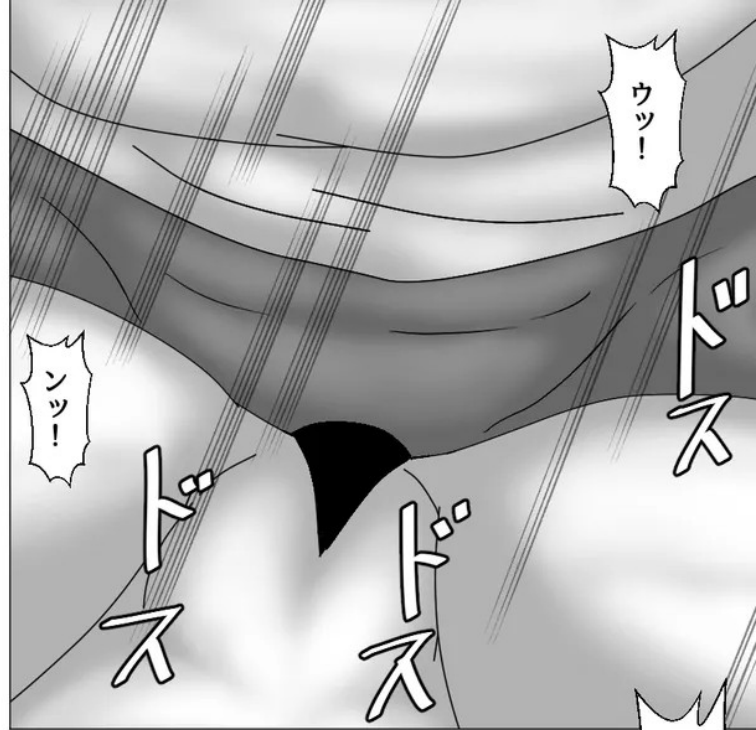
ド
ス
ド
ス

アアアアアッ！



ンッ!

ンッ!



ウツ!

ンッ!

ド
ス

ド
ス

ド
ス



許さ...ないっ!

パ
ニ

パ
ニ

パ
ニ

アンタッ...!



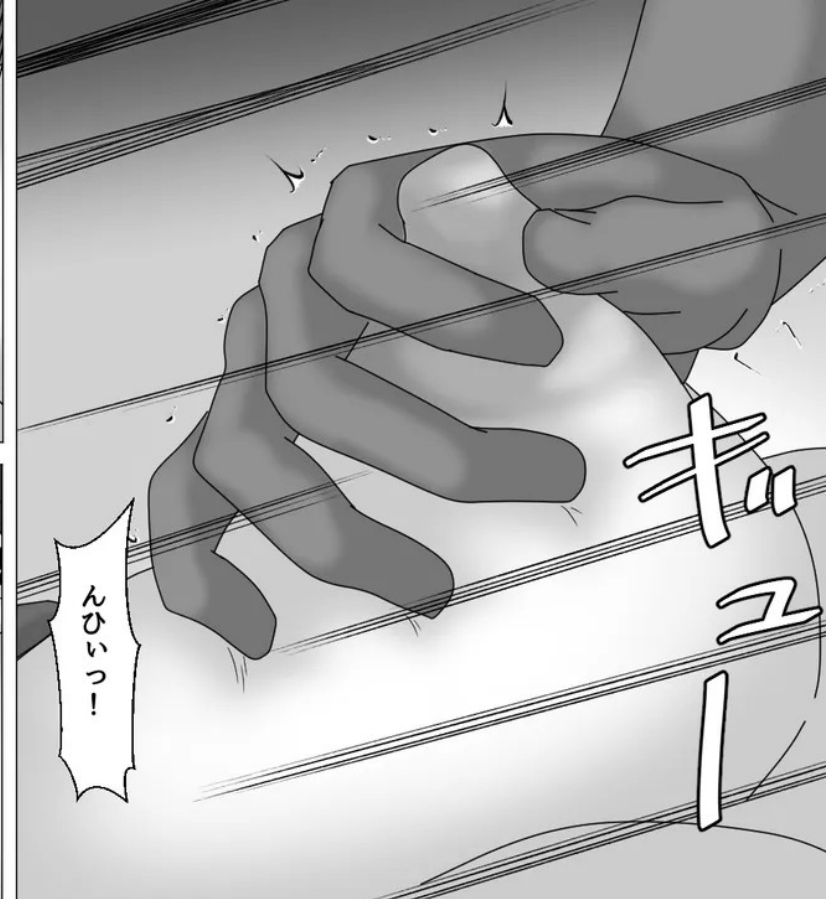
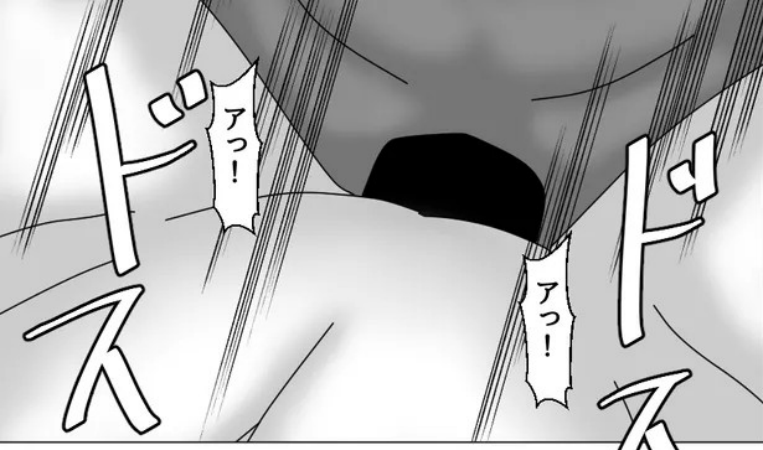
最初は痛いけどよ、
その内気持ちよくなるから

少し我慢しとけや



ンングウツ!

ク
ク



何この感じッ……!

ああああッ



すげえ
締め付けてくるな!

おおおっ!
いきなりどうした?



ああああッ!

ああああッ!



こんだけ敏感だったら、セックス病みつきになるな!

いやあぁっ! 私、そんなのなりたくない!



ハハハッ
先生ッ、乳首敏感すぎ!
セックスの才能あるんじゃないか!

いじりだした途端、ギユウギユウに締めつけてくるぜ!



セックスなんて痛いだけじゃない!

ああ、そうかい。でも、そんな事どうでもいいや。もう俺出そうだ!

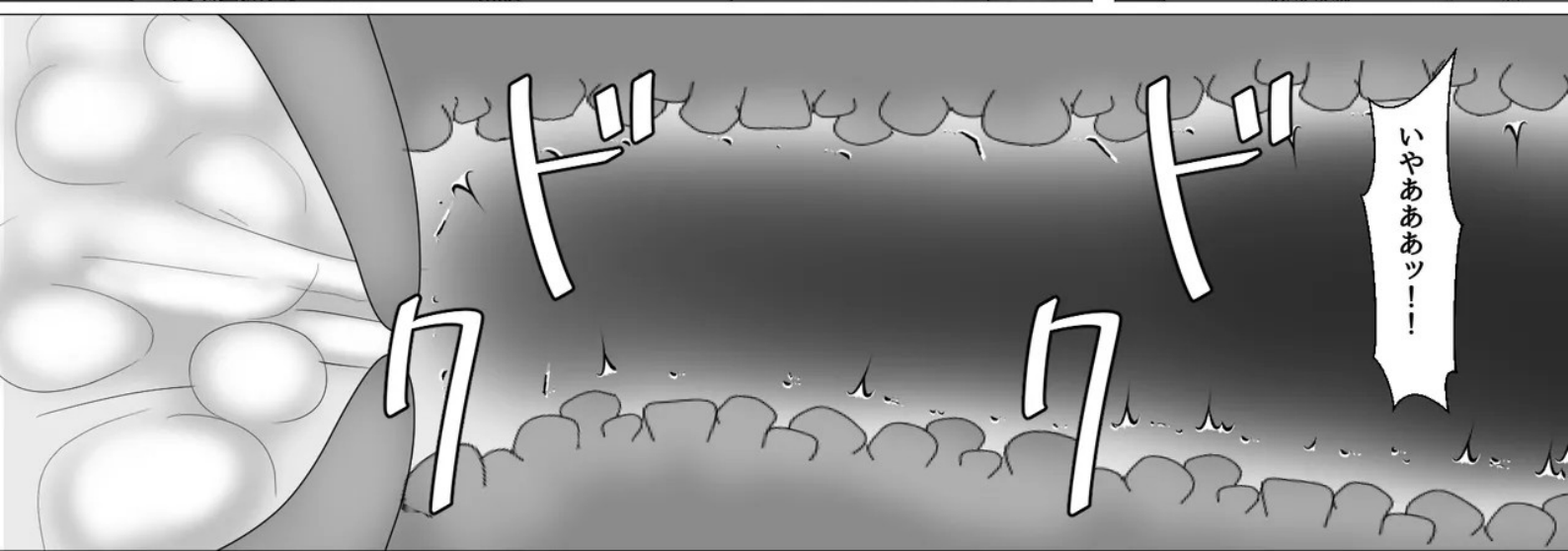
ええッ!?

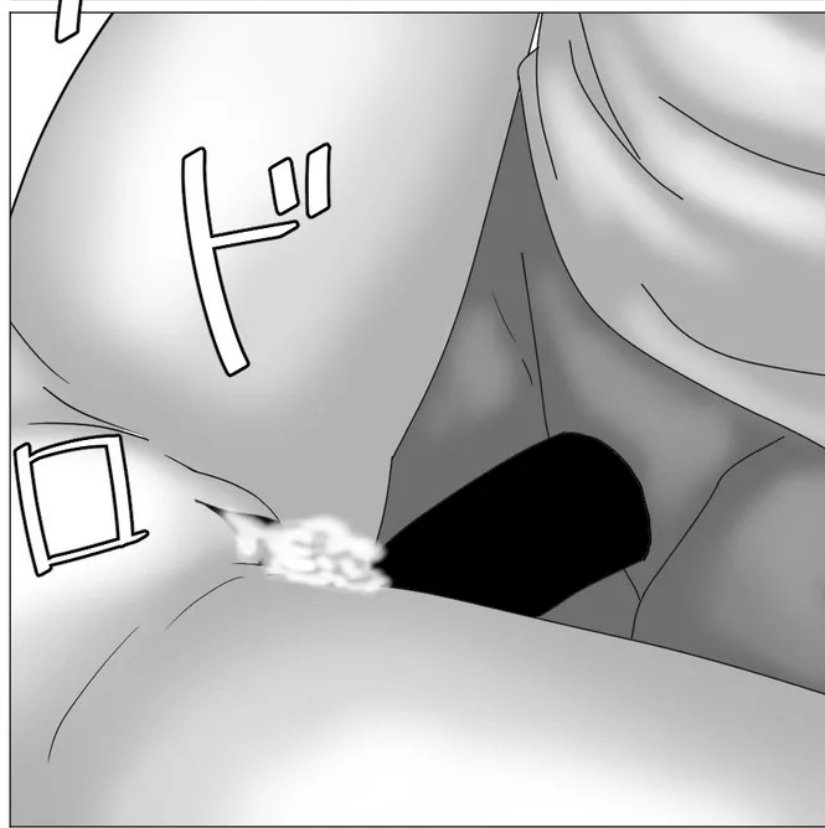
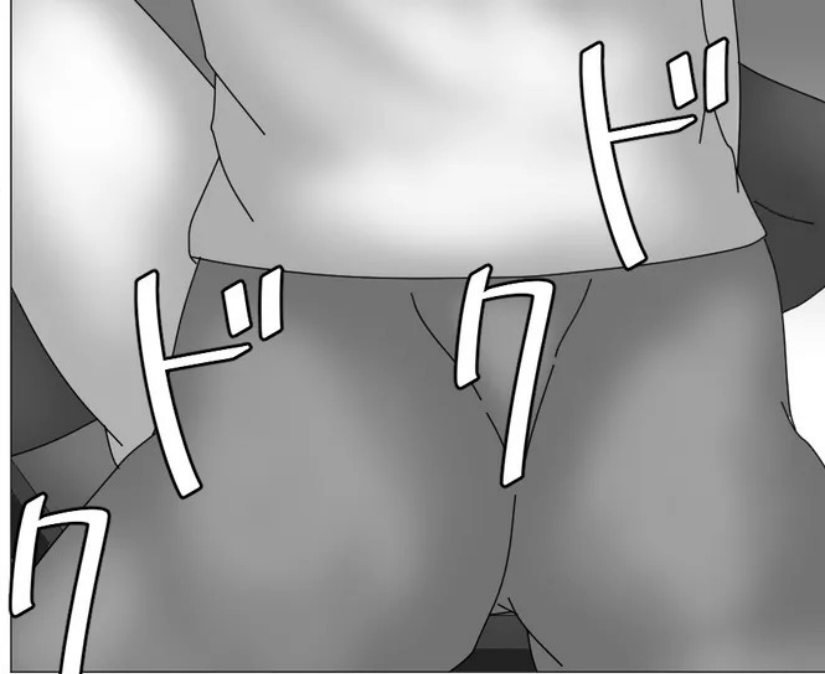


ちよっと!?!ダメ! 中には出さないで!! お願いッ!

赤ちゃん、できちゃう!







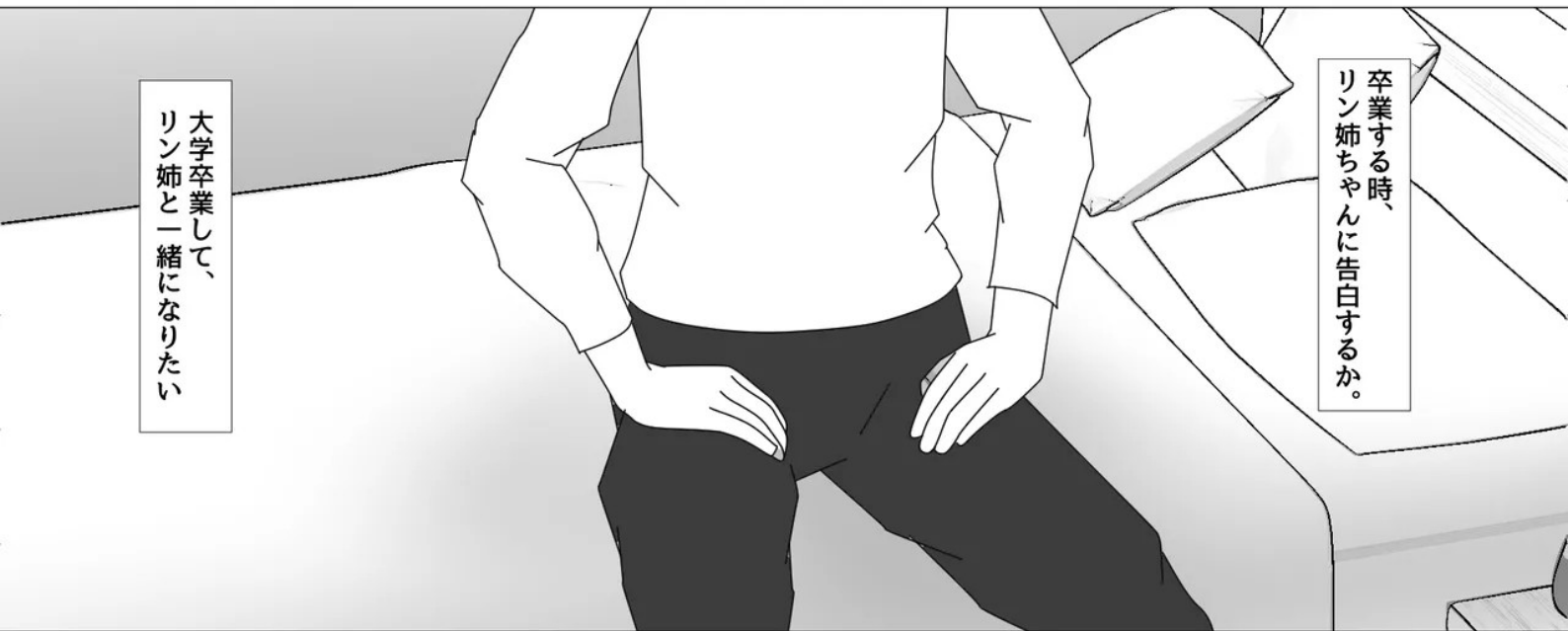


早く高校卒業して、
大学生になって。



リン姉ちゃん：
今頃仕事してるのかな。

…



大学卒業して、
リン姉と一緒にになりたい

卒業する時、
リン姉ちゃんに告白するか。



頑張ろう！



だんだん痛みも
なくなってきたか？

ああ…ッ
ああああ…ッ



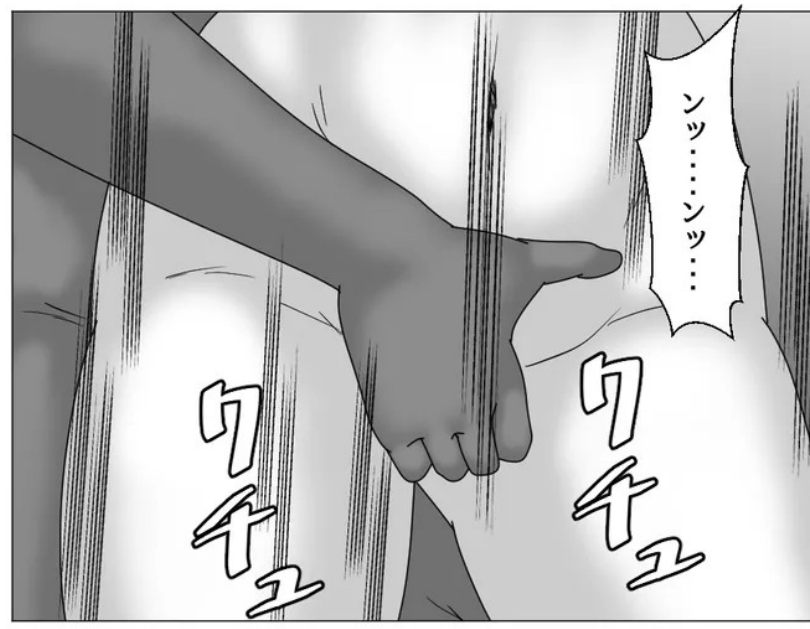
ハッ…ハッ…
アッ…アアッ…



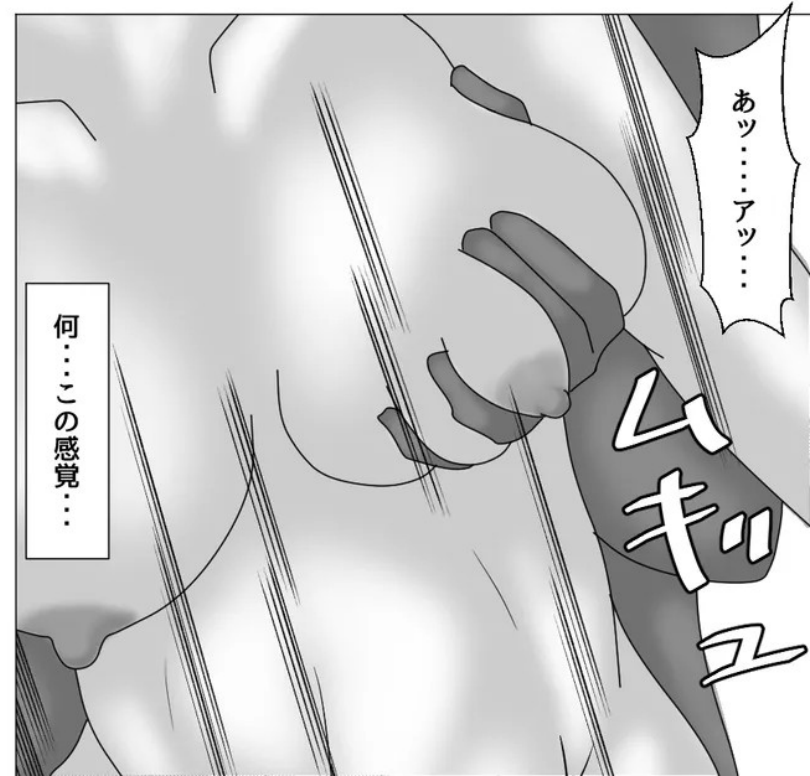
おかしい…
さつきまで痛かったのに…

あああッ…

アソコの奥の方から！



ンッ…ンッ…



あッ…アッ…

何…この感覚…



好きでもない人として
気持ちいいわけない！

そ、そんな訳ない！

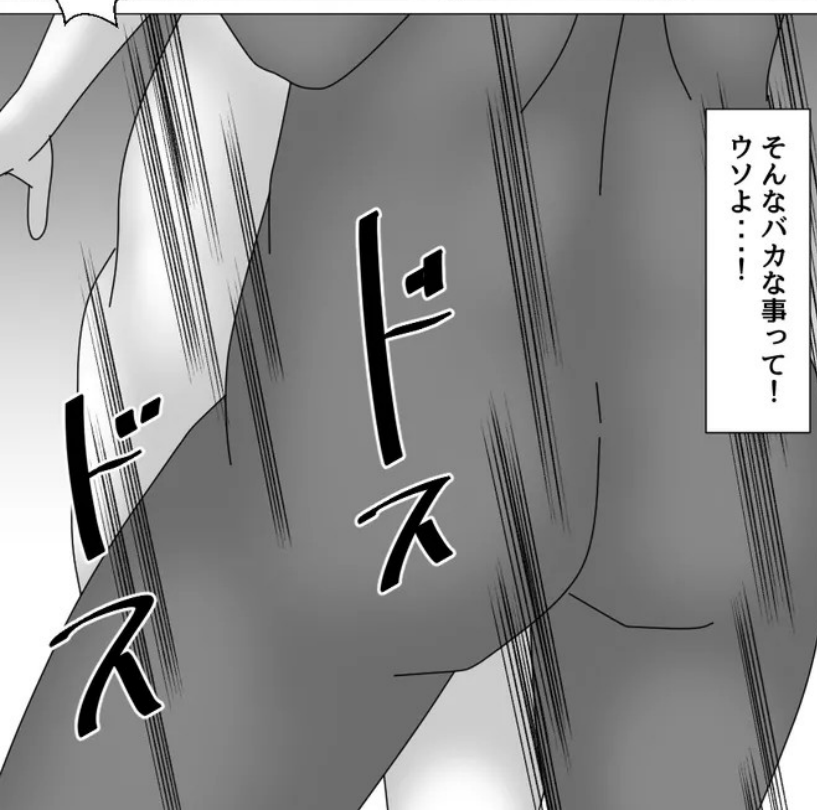


ククク。
無理矢理されてるのに、
気持ちよくなり始めたな？



あああ！

あああ！



そんなバカな事って！
ウソよ……！



は、いくらでも否定しようよ。

現実、声が漏れちゃってるんだから！

説得力ないぜ

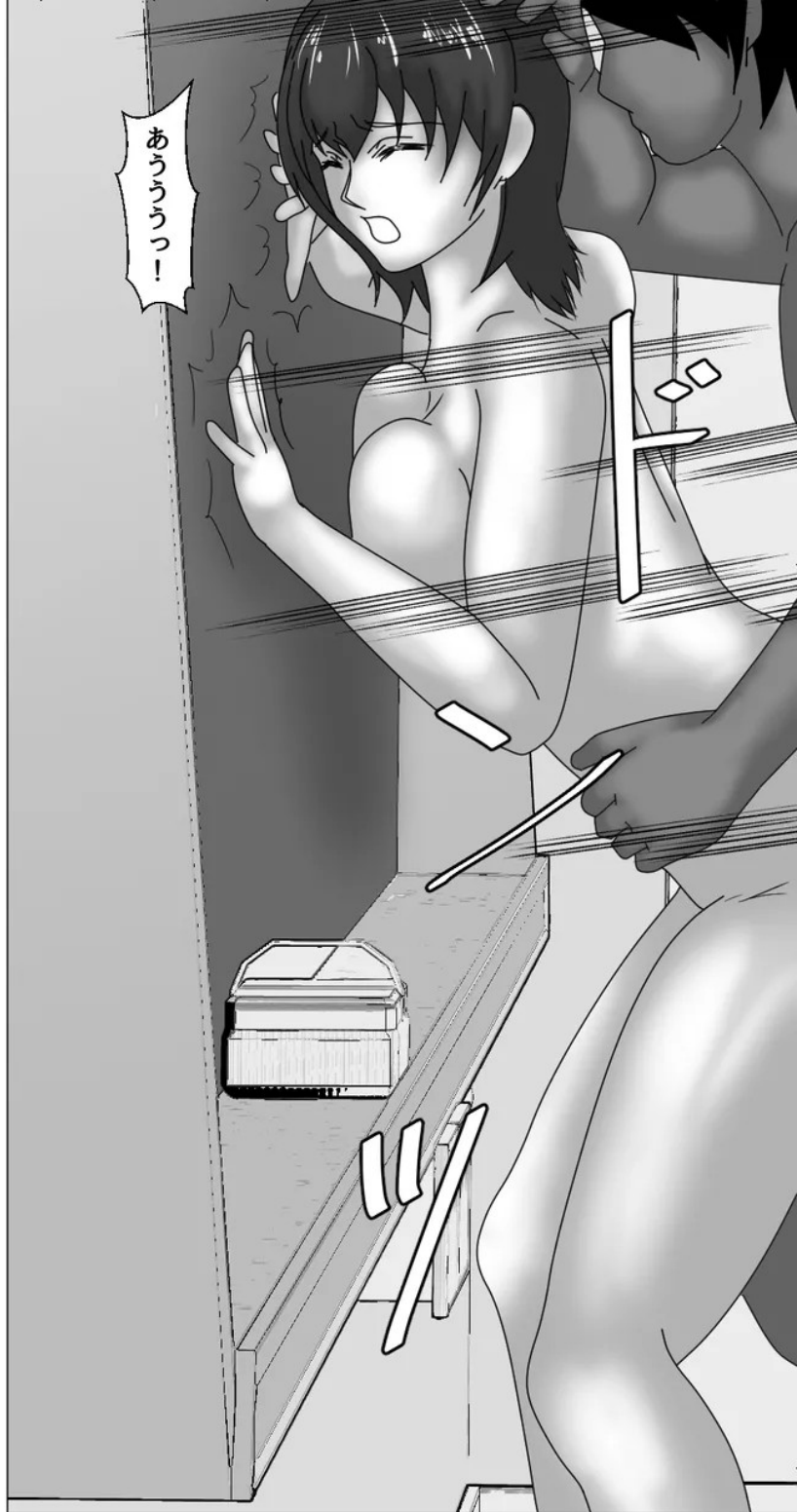


ムグウッ!

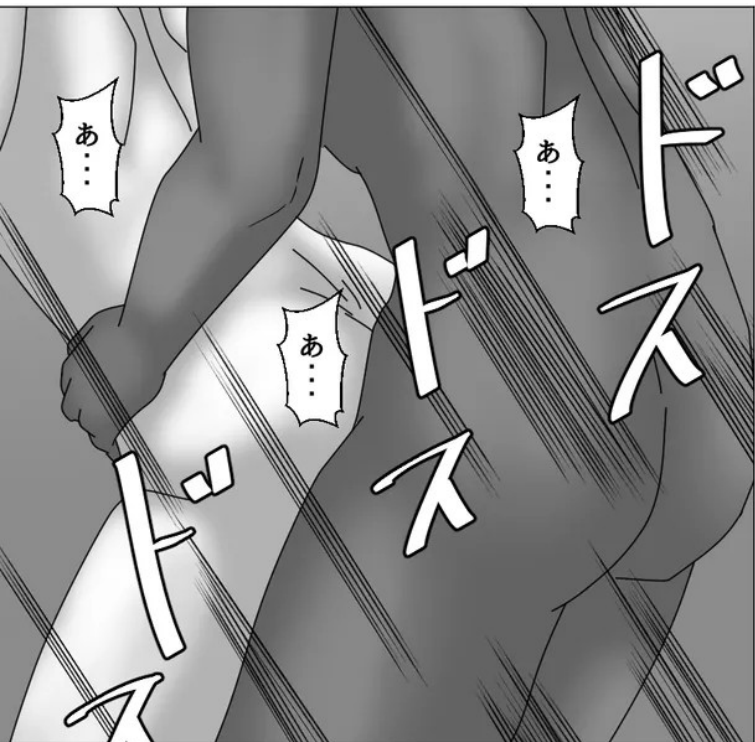
グ

グ
リ

ほら、
気持ちいいんだらう?



あうううっ!

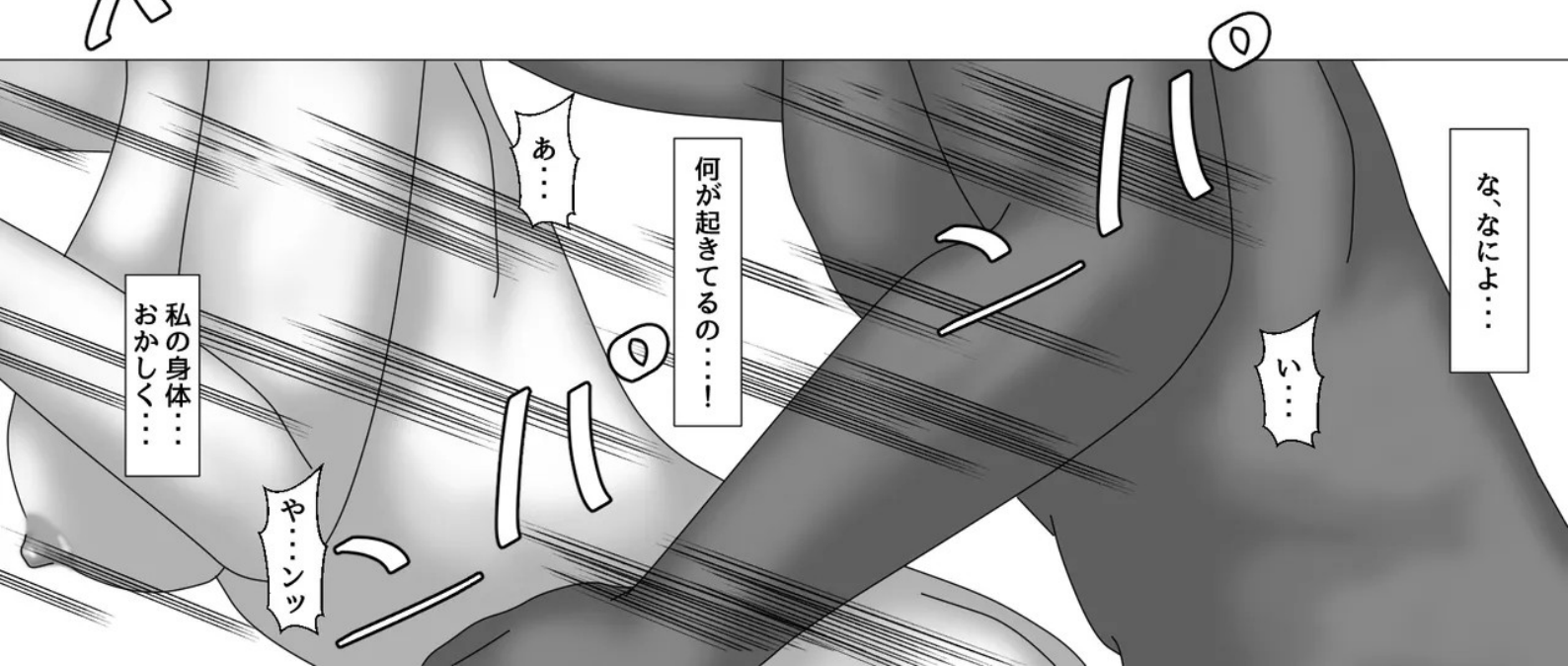


あ...

あ...

あ...

ド
ス
ド
ス
ド
ス
ド
ス



あ...

何が起きてるの...!!

私の身体...
おかしく...

や...ンッ

な、なによ...

い...

ハ



何か来る…ッ!



ああああッ

イヤ…ホント…
何…コレ…ッ

ビ
ク

ビ
ク



ああああッ…

ヒクッ…

ビ
ク

ビ
ク

ヒクッ…

ビ
ク



お、イクのか!?

しつかりその感覚
身体で覚えろよ!

イヤッ!私ッ
どうしたら…ッ

ハ
ン



もうダメッ…!

アッ!

ダ…メッ!

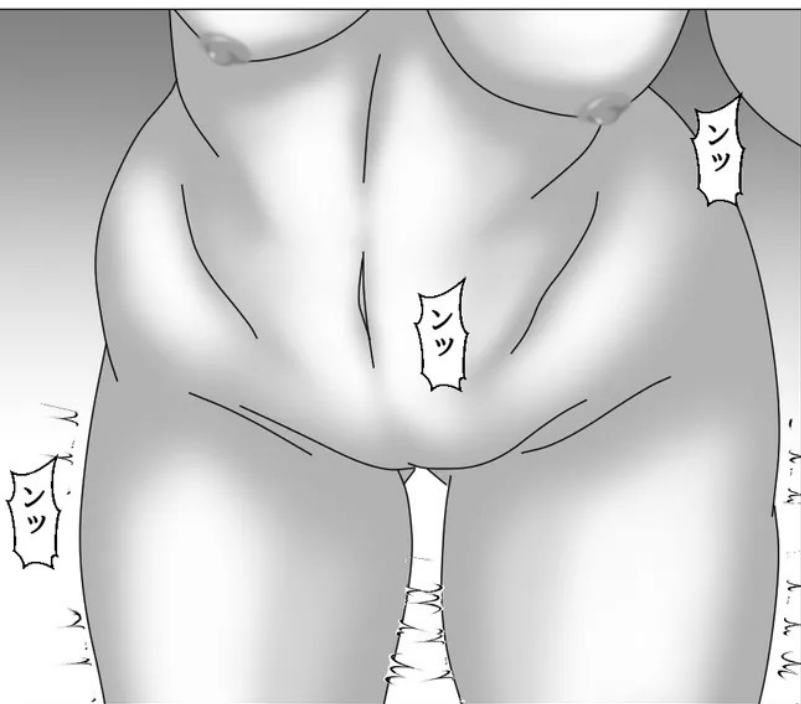
ハ
ン

アッ!



ヒッ…

ウッ…



ンッ

ンッ

ンッ



良いいきっぷりだったぜ

先生。

ハア…

ハア…



あああああああああッ

ビク

ビク

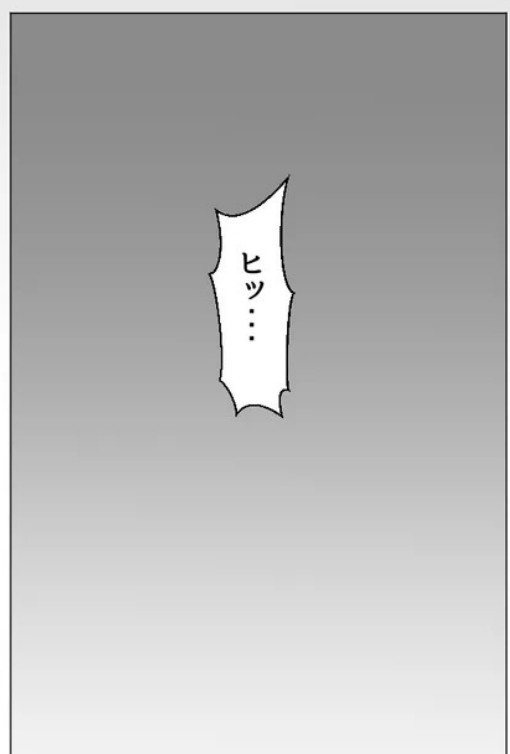
ビク



あああつ…

先生の大好きなおっぱい責めも
沢山してあげるからさ。

とりあえず半年間
たっぷり愛し合おうぜ。な？



ヒッ…

もう…いやあ…